

様式 3

平成23年9月1日

独立行政法人
郵便貯金・簡易生命保険管理機構
理事長 殿

団 体 名 アジア保育教育交流推進実行委員会

平成22年度国際ボランティア貯金寄附金に係る配分事業の中間報告書

1 本事業に係るウェブサイトのURL

http://cwoweb2.bai.ne.jp/osaka_maipenrai/index.html

(これ以下、記入欄が不足する場合、適宜行を追加するか、又は別紙を添付してください。)

2 事業の進捗状況

承認された「平成22年度国際ボランティア貯金寄附金に係る配分事業の実施計画書」(以下「実施計画書」とします)上の進捗予定	本件報告時点までの進捗状況
①第1回公開保育研修会事前調整 5月20日(金)～22日(日) <ul style="list-style-type: none">公開保育応募保育園・幼稚園・図書館の視察シーカアジア財団と実施箇所の選定公開保育実施箇所のニーズを踏まえ、保育内容の検討テキスト会議の開催	公開保育研修事業の実施にかかる実施箇所の選定や研修内容の協議、テキストの作成準備のために次のとおりスタッフを派遣しました。 スタッフ 松尾純代、稲葉貞夫 5月20日(金) 実施箇所についての選定の協議、実施予定箇所の訪問 21日(土) 2010年度実施施設の決定 22日(日) 2011年度事業にかかるテキスト作成の準備
②第1回公開保育研修会 6月 6月21日(火) <ul style="list-style-type: none">チュワパーン・スワンブルー・クロントイ	第1回公開保育研修会 6月21日 ・スラム視察

<p>スラムの視察</p> <p>22日(水)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シーカアジア財団スタッフ・日本人講師と共に、公開保育研修保育内容についてシュミレーション、役割分担、準備を1日行う <p>23日(木) ～26日(日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開保育研修会を、保育園・幼稚園・図書館で実施する。6箇所 ・現地調整に基づき、公開保育場所、日程、時間を決定し実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園・図書館で子どもの姿に学ぶ <p>22日(水)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開保育実施か所についてオリエンテーション ・シーカアジア財団のスタッフとともに公開保育シュミレーション ・準備物の用意 <p><u>プラサートシン保育園</u> (6月23日午前中)</p> <p><u>担当講師</u> 橋本暢子さん</p> <p>公開保育参加者(こども4～5歳 60人、保育者6人)</p> <p>意見交流研修会参加者(外部見学者14人、当該保育園 2人 園長1人)</p> <p>活動内容：≪・頭・肩・膝・ポン ・アヒルのダンス(CD) ・新聞紙で遊ぶ ・ボウリング ・パーポルーンであそぶ ・ジェンカ≫</p> <p>意見交流研修会</p> <p><u>クロムガン幼稚園</u> (6月23日(木)午後)</p> <p><u>担当講師</u> 橋本暢子さん</p> <p>公開保育参加者(5歳児 172人、保育者 12人)</p> <p>意見交流研修会参加者(外部見学者：13人、当該幼稚園：6人)</p> <p>活動内容≪・頭・肩・膝・ポン ・アヒルのダンス ・新聞紙で遊ぶ ・パーポルーン≫</p> <p>意見交流研修会</p> <p><u>ワットターカム幼稚園</u> 6月24日午前</p> <p><u>担当講師</u>：橋本暢子さん</p> <p>公開保育参加者(4歳児 110人、保育者：6人)</p> <p>意見交流研修会参加者(外部見学者 22人、</p>
--	---

当該保育所：5人)

活動内容:3クラスの子どもを4色のグループに分ける

《・頭・肩・膝・ポン ・アヒルのダンス ・新聞紙で遊ぶ ・紙でっぽうづくり ・オセロ ・パーポルーン ・お土産に紙風船》

意見交流研修会

セータムクローマニ保育園 (6月25日午前)

担当講師：徳永和美さん

公開保育参加者 (2歳～5歳親子 28組)

意見交流研修会参加者(外部見学者 25人(行政担当者3人含む)、当該保育所：6人)

活動内容《・頭・肩・膝・ポン ・アヒルのダンス (CD) ・バスに乗って (CD) ・なべなべそこぬけ ・新聞紙遊び ・ヤクルトでマラカスづくり》

意見交流研修会

ラートパタナー保育園 (6月25日午後) 担

当講師：森中智也さん

公開保育参加者 (2歳～小学生親子 25組)

意見交流研修会参加者 (外部見学者 28人、当該保育所 4人)

活動内容《・手品 ・しあわせなら手をたたこう ・手作り蒔絵「おおきなかぶ」 ・日本橋こちょこちょ ・なべなべそこぬけ ・「よろしくね」(CD) ・布で遊ぼう 2つにわかれて、シーツ遊び ・紙トンボ作り》

意見交流研修会

バーンテープ保育園 (6月26日(日)午前)

A 担当講師：森中智也さん

B 担当講師：徳永和美さん

Aが保育園の親子、Bは就学児の親子と設

<p>27日（月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開保育開催保育園・幼稚園・図書館代表者、研修会参加者と、大阪マイペンライ・シーカアジア財団と総括会議 ・大阪マイペンライ・シーカアジア財団と総括と次回打合せ ・テキスト整理 	<p>定し、人数も部屋の広さから15組と10組としていたが、そのように分けること困難で、親子の集まり状況を見ながら入室を誘導し、結果15組と14組となった。</p> <p>A活動</p> <p>公開保育参加者（2歳～小学生親子15組）</p> <p>活動内容《・「しあわせなら手をたたこう」・手作り蒔絵「大きなかぶ」・「よろしくね」CD・布遊び・紙トンボ作り》</p> <p>B活動</p> <p>公開保育参加者（2歳～小学生親子14組）</p> <p>活動内容《・「アヒルのダンス」CD・「バスに乗って」CD・「な・な・なむでん」・新聞紙遊び 走り玉入れ・牛乳パックモクモク人形づくり》</p> <p>意見交流研修会</p> <p>6月27日</p> <p>1 総括会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開保育開催場所の選考、見学申し込みの状況について ・「2月実施で総括した改善点をどう生かせたか」 ・活動内容について ・講師としてかかわって ・今後に向けて <p>2 次回開催について</p> <p>日程を確認し、準備を進めることとした。次回については一連の研修事業の最終回として、現地の協力団体から公開保育のプログラムの提示を求め、それに沿った準備を進めることとする。</p> <p>3 テキスト作成準備</p> <p>これまでの公開保育で使用した資料を整理し、テキストの形にまとめていく。</p>
--	--

注：配分事業の進捗状況について、計画と対比した上で、進捗しているかどうかを数字で表せる

ものはできるだけ計数化し、具体的かつ詳細に記載してください。

3 スタッフ等の派遣状況

氏名	専門技能等	派遣期間	派遣内容(派遣時の事業実施事項を具体的に記入願います。)
松尾純代	保育士	5月20日から 5月22日まで3日間	実施箇所についての選定の協議、実施 予定箇所の訪問 2010年度実施施設の決定 2011年度事業にかかるテキスト作 成の準備
稲葉貞夫		5月20日から 5月22日まで3日間	実施箇所についての選定の協議、実施 予定箇所の訪問 2010年度実施施設の決定 2011年度事業にかかるテキスト作 成の準備
橋本暢子	保育士	6月21日から 6月27日まで7日間	スラム地区および地区の保育園視察 協力団体スタッフとの公開保育準備及び シュミレーション 公開保育の講師及びその補助 意見交流研修会への参加 総括会議への参加
松尾純代	保育士	6月21日から 6月27日まで7日間	スラム地区および地区の保育園視察 協力団体スタッフとの公開保育準備及び シュミレーションの指導 公開保育の主催 意見交流研修会の主催 総括会議の主催
徳永和美	保育士	6月24日から 6月26日まで3日間	協力団体スタッフとの公開保育準備及び シュミレーション 公開保育の講師及びその補助 意見交流研修会への参加
森中智也	保育士	6月24日から 6月26日まで3日間	協力団体スタッフとの公開保育準備及び シュミレーション 公開保育の講師及びその補助 意見交流研修会への参加

4 今後の活動予定

注：上記2「事業の進捗状況」を踏まえた上で、今後の事業の活動予定を記載してください。

なお、計画どおり事業を推進することが困難な場合は、その理由と対応策を明記するとともに、様式8により計画変更の提出をしてください。

(これまでの事業が承認された実施計画書どおりに遂行されており、かつ、今後の事業もほぼ実施計画書どおりに遂行されると判断した場合は、その旨記載すれば結構です。)

(1) 第2回公開保育研修会事前調整

1 2月21日(水)～23日(金)

スタッフ2名の派遣

- ・ 公開保育応募保育園・幼稚園・図書館の視察
- ・ シーカアジア財団と実施箇所の選定
- ・ 公開保育実施箇所のニーズを踏まえ、保育内容の検討
- ・ 保育実践テキストの作成準備

(2) 第2回公開保育研修会 2月

2月14日(火)・チュワパーン・スワンプルー・クロントイスラムの視察

15日(水)・シーカアジア財団スタッフ・日本人講師と共に、公開保育研修保育内容についてシュミレーション、役割分担、準備を1日行う。

16日(木)～19日(土)

- ・ 公開保育研修会を、保育園・幼稚園・図書館で実施する。6箇所
- ・ 現地調整に基づき、公開保育場所、日程、時間を決定し実施。

20日(日) 4年間の研修事業のまとめとしてパネルディスカッション

パネラー

研修参加者の代表

公開保育実施保育所・幼稚園・図書館から代表

シーカアジア財団

大阪マイペンライ

21日(月)・公開保育開催保育園・幼稚園・図書館代表者、研修会参加者と、大阪マイペンライ・シーカアジア財団と総括会議

大阪マイペンライ・シーカアジア財団と総括

保育実践テキストの作成

5 現地の人々の反響・意見

注：団体による中間段階での評価も含め、現地の人々の率直な意見等を記載してください。また、関連資料として報告時点までの配分事業の進捗状況に関する写真等を添付していただくか、貴団体サイトに掲載を願います。

2011年バンコク公開保育研修事業の中間まとめ

①公開保育開催場所の選考、見学申し込みの状況

- ・3月に広報し、従来から移動図書館事業で訪問していた施設、センター会員所属施設、2008年からの研修会に参加職員所属施設など100か所に手紙を送付、応募があったのが7施設。1施設はあまりに富裕層の地域施設のため断り、6施設となった。
- ・見学者：2月の公開保育研修では当日の参加が当日90名であった。今回は18か所の保育・教育施設から100名申込が申込んだ。
- ・今回、スラム地区としてスワンオイ地区が入った。今後もスラム地区での開催が一つは入っていることが望ましい。
 - ・どの公開保育研修でも活発な意見が出て、大成功だったといえる。

②2月実施で総括した改善点をどう生かしたか

- ・申込事務
申込用紙を作り誰もが対応できるようにしたが、総務の仕事が忙しかったり、詳細の問い合わせがありなかなか全体化できなかった。次回は、総務課全体で対応するよう努力する。
- ・スタッフをサブリーダーとして活動中の位置を確立する
準備：事前準備から当日、サブリーダーとして活動するスタッフ全員で取り組めた。
サブリーダー：グループリーダーとして活動することで責任が重くなり、事前打合せ・シュミレーションなどを通して学んだことが活かすことができ、自信につながった。
- ・大阪の3人講師：サブリーダーの存在大きかった。サブの方と打ち合わせ会議、シュミレーションを通して活動を理解いただけていることで安心して、忘れたときに思い出すことができ、とても助かった。次にはサブではなく、リーダーとして活動してほしい。
- ・見学者へ注意事項について説明：前回、実施していたが、今回しきれなかった。ビデオ・写真の撮影が目立った。公開保育実施施設職員の撮影も目立った。子どもの活動の妨げになることを注意事項をきっちり連絡する。
- ・活動内容掲示ボード
リーダー・サブリーダーが確認するためにも役立った。
- ・交流開前に活動を再現
とてもよかった。見るだけでなく、実際に活動することが重要なので実施好評
- ・交流会の進め方 「意見のある人が話をし、全員に順に話をしてもらわない」 やりかたがよかった。スムーズ。会員同士が意見を言い出す場面もあった。

今後、会員同士が活動について対立する意見が出た場合など、それをどのように交流を進めていくのが課題。

通訳者のギップさんは、交流会の進行役にはならない。

③活動内容について

・紙てっぽうは

4歳・5歳について難しかったのでは。

年齢ではなく、110人・200人という大きい集団の問題であったのかも。

・親子のふれあい活動

親子の触れ合いが少ない状況のなか、意義がある。

・活動

一人で、2人で、集団だと流れがあってよかった。

・手作りおもちゃ

親子で作る良さと持って帰ることができる良さ。

・日本の音楽の活用

子どもが楽しめる音楽が少ないことから、日本のうた・あそびのうたがたくさん入った。

前回「タイで売ってない歌」という意見もあったが、今回そんな意見も出なかった。

いろんな歌の一つとして日本の歌もとらえたらいいのでは。

・狭い場所での布

おとなの安全面の配慮が必要だが、それさえ押さえることができ、子どもたちにも注意すれば、どんな部屋でも可能。

④講師としてかかわって

森中：ギップさんの大きなかぶとても素敵、子どもへの誘いかけ・子どもの気持ちに寄り添っていた。

徳永：3年前は保育者を対象としていた。今回はこどもといっばいであることができ、とてもうれしかった。シーカーのスタッフとともにの活動に感激

橋本：200人、110人を対象の活動大変だった。今後同様の施設からの要望には、グループ別に、あるいは2部制・3部制など対応する方がこどもはもっと楽しめる。

今後はシーカーがメインリーダーに、サブリーダーとしての手助けは惜しみません。

⑤今後に向けて

・見学者同士、対立した意見を交わす場面が2回ほどあった。その場合、他の人にも対立する二つの意見に対する意見を出してもらうなど意見を深めるよう交流したい。

・12月の打ち合わせ時には、①テキスト案がだいたいできていること、②どのようなパネルディスカッションの場にするのか、意見をまとめる

公開保育の意見交流研修会で出された意見

プ拉萨ートシン保育園 (6月23日午前中) 担当講師 橋本暢子さん

意見交流研修会参加者 (外部見学者 14人、当該保育園 2人 園長 1人)

意見交流研修会 進行: ギップ

・電車労組: 小さい子どもの保育園。2010年9月に公開保育、1歳過ぎから 4歳くらいまでが一緒に遊ぶことを楽しんだ。今日は新聞紙の遊びを見学し、今後保育園で生かしたい。

・スワンオイ地区の保育園: 2歳半から5歳までの保育園。今日の活動いずれも子どもたちは楽しむであろうと見せていただいた。

今度の日曜日当保育園で公開保育を行うが、他の公開保育日には9人の保育士が分担で見学に来ている。それほど意義がある活動だと思っている。

・マヒドン大学付属幼稚園: それぞれ少人数のクラス、他のクラスの子どもたちと遊べない、一緒にいると緊張する。参考になる活動を学びに来た。

・当該保育園: 遊びに協力的に楽しんでいる。日々子どもに教えているときに は見られない顔を見せ遊んでいる。ありのままの子どもが見られた。

シーカーの研修に参加して子どもたちにとって良い活動だと思った。しかし、直接実践いただくことでより理解することができた。

- ・次の機会にはぜひわが園で実践してほしい。
- ・見学させていただきよかった。いろいろな活動みな実践できる
- ・からだを使った活動、音楽を活用した活動、それぞれが活用できる。

講師・橋本さん: ・子どもが楽しむことを一番の目的だと思っている。楽しむことで子どもは様々なことを身につける。

紙を折る、2人で一つのものを作る。助け合う姿が見られた。ポーボールン、中に入ることを楽しんでいる。待っている子どもたちも次に自分たちが遊ぶということを理解して待ていられた。

・マヒドン大学付属幼稚園: 今日の活動のコンセプトを確認したい。一つ目・子どもが楽しいと感じるよう努力をする。二つ目・子ども自身が自分で考える機会を大事にする。三つ目・音楽をうまく活用して子育てを支援する。

マイペンライ・松尾: 楽しいと感じることとても重要。楽しかった次もしたいという意欲、意欲を持って取り組み楽しかった、それが自信につながる。

マイペンライとしてシーカアジア財団とともに研修活動の経過を説明、シーカアジアのスタッフとともにの活動であり、今日も昨日1日かけてシュミレーションを行い、スタッフの力でうまく活動できた。

ブック（シーカ事務局次長）：公開保育の効果はとても高い。実際に子どもの反応を、保育者のかかわりをじかに見る研修の意義は高いと実感した。

これからは大阪マイペンライの力を借りることなく、シーカーのスタッフで活動できるよう努力していきたい。

クロンムガン幼稚園（6月23日（木）午後）担当講師 橋本暢子さん

意見交流研修会参加者（外部見学者：13人、当該幼稚園：6人）

意見交流研修会 進行：ムアイ

・**ラームインター保育園**：昨年2月公開保育の場所となった。1歳ごろから5歳までの子どもの活動だった。今日は5歳児の活動で大人数ではあるが、活動的で楽しい内容であったように思う。破る音、ほおり投げるなど楽しんで活動していた。

・**スワンオイ地区保育園**：2月に見学した保育園より大人数でとても活動的。親子活動を見学した。同年齢でしかも5歳児という年齢である中とても面白かった。活動的だし子どもが楽しんでいた。

・**マヒドン大学付属幼稚園**：それぞれの活動で子どもの発達のどの部分を伸ばしているのか。新聞のボールを袋に入れる際、ボールに色がついていれば間違った袋に入れるとすぐわかる。色がついていない中子どもに指摘ができない。

・**クロンガム幼稚園（当該幼稚園）**：1クラス40人強で4クラス。全員の活動をお願いしたものの楽しめないのではとても心配していた。

新聞紙がゲームにまで発展し、また子供たち自身が待つという行動ができることに驚いた。

ペットボトルを紙のボールで当てるゲームの際、少し混乱した。もっと混乱した場合どう対応すればいいのか

講師・橋本さん：大人数でどう遊んだら子どもは楽しめるのかと悩んできた。子どもたちの遊びに対しての興味の力に助けられ、楽しく活動できたのではと思っている。子どもが楽しむことにこだわりたいと活動し、その事が子供の力に結び付くと考えている。

・**クロンガム**：一人一人が楽しんでいることがよくわかった。育っている力も気が付いた。考える力、待つ力など。

マイペンライ：松尾：子どもの気持ちと育つ力はとても関係がある。走りなさいと言われ走ると、好きなものをとるために走るとでは同じ走るという活動でも全然異なる。子どもが楽しむことで、次の活動への意欲が育つ、そして活動することで様々な体験を楽しみそれが自信につながる。

身の回りのものが子どもにとって大事な教材だと考えている。おうちで読む新聞が、お風呂になって遊べる、ボールになる、ゲームの材料になる。いろいろなものに変化する。身の回りの物をその用途だけでなく、どのように工夫すればおもちゃになるのかという工夫する

力、一つの用途にしか考えられないのではなく、様々なものを多様に、多様なものとして認識する土台になる。

おもちゃは、高価なおもちゃ屋さんにあるのではなく、身の回りにみんなで工夫することでいっぱい埋もれている。

ワットターカム幼稚園 6月24日午前担当講師：橋本暢子さん

意見交流研修会参加者（外部見学者 22人、当該保育所：5人）

意見交流研修会 進行：プラー

・スワンオイ地区保育園：初めて見た活動多く、とても参考になった。ポーボルーンへの子どもの喜び・楽しさの表情が印象的

・マーシー財団：大人数で子どもの興味が外れると、スタッフがうまく誘導しているのが印象的

・ペン（保育所を運営・以前シーカスタッフで大阪にも招聘研修で来日）4歳児で大人数、知らない人・言葉の語りかけのなか、注意散漫の子どもが多いように思った。

今日の活動を全体見て、子どもが楽しいと感じる活動を行うには先生のエネルギーが多分に必要。先生は疲れる。今日の子どもの楽しんだ活動を取り入れるか否かは、先生しだい。

・マヒドン附属幼稚園：感謝している。以前紙をちぎる活動をしたが、うまくちぎれなかった。準備不足だったようだ。

新聞をちぎるのを見せる。大きい音や小さい音がするのも気づく。ちぎったものでみんなで遊ぶ。そしてボールをつくり、それが次のゲームの材料に。遊びが連続してる。

小さいボールを作って子ども同士が互いに作ったものを見せ合っている姿が素晴らしかった。

・ターク県保育士の代表：子どものことがよくわかる活動。子どもにとって関心が高いことをいっぱい行っている。初めは混乱していたが、あとは遊びの楽しさをわかって待てるようになった。好きな活動をすることへの信頼感からだろう。

大阪マイペンライとシーカーアジア財団の研修に参加し多くを学習したが、子どもの実践にはつながっていなかった。それが今日の活動を見学することでつながった。

・南タイ：子どもの握力が弱いと訴える親に、今日のボールづくりノア祖母などを紹介したい。

・マーシー財団：すべて素晴らしい活動。だが、子どもたちがぶつかり合う姿が見られた。安全に配慮する指示が必要。また、ぶつかり合った時など、ごめんなさいと言わせるなどケンカ時の対応が必要。

大人数の子どもで、スタッフが少なすぎるのではないか。大人数とするには無理がある活動。

・スワンオイ地区保育園：危ないとは思わない。安全面を考えすぎると子どもの主体的行動を奪うことにもつながる。

・ワットターカム幼稚園(当該幼稚園)：入園して1か月、どうなることやらと心配したが、心配していたよりよく遊んでいた。安全面のご意見は今後に活かしていきたい。公開保育という初めての体験、とても学ばせていただいた。

・マヒドン大学教授(衛生学)：遊びの組み立て方がとてもよかった。チームごとに遊んでいたが、

もっとチームリーダーの役割を明確にしたほうがよかったのでは。

新聞紙、大事なものを遊びに取り入れること、子どもにその押さえが必要。新聞紙のインク有害、後の手洗いが必要。

担当講師：橋本暢子さん：たくさんの人数のしかも4歳児。悩んだが楽しい時間をいっしょに過ごそうと活動を計画した。知らない人・言葉の通じない人の誘導で混乱していたこともあったが、遊びへの関心の高さから、待つ姿、みんなと一緒に活動するができたと思う。

マイペンライ：松尾：袋にボールを片付ける際、確かに子どもが殺到し折り重なるという姿を生じさせた。あれは、もっと袋を出せば解決することで配慮が足らなかったと思う。しかし、折り重なってもだれも泣かなかった。それはどの子どもも遊びたい、活動したいという思いが強かったからで、すごく驚いた。

ケンカの対応重要。しかしいつも状況を聞いて、話し合わせる・謝るといふかかわりが必要とはいえない。遊びの中で起こり、互いがそれを鵜意識することなく遊びへの興味が強い場合は、そのままにしておくことも大事なかかわりだと思います。

大阪から保育者が遊びをリードしているが、シーカーアジア財団のスタッフがいないと活動は進められていない。時間をかけ、内容を詰め、活動のシュミレーションをして今日を迎えている。

セータムクローマニ保育園 (6月25日午前) 担当講師：徳永和美さん

意見交流研修会参加者 (外部見学者 25人 (行政担当者3人含む)、当該保育所：6人)

意見交流研修会

・スワンオイ・バンティープ保育園：2月の公開保育研修に参加したが、親子活動は初めて見た。子どもの表情が素敵。保護者の緊張が徐々にほぐれ、最後には本当に楽しんでいた。

親子がふれあい遊んでいるのが素晴らしい。

・2月の公開保育実施保育園園長：この保育所の保護者、子どもがとても楽しみ、バスに乗ってはバスから身を乗り出し楽しんでいた。このような活動が親子のきずなを深めると実感すべての活動に感銘を受けた。新聞紙から次々連続性の遊びが素晴らしい。

・マヒドン附属幼稚園：職員28人が順番に参加している。感動した。親と子どもの表情が徐々に変わっていくことがよくわかった。はじめぎこちなかった親との子の触れ合いが徐々にうれしさに代わる。だれでも遊べるもの、ヤクルトなど日常使っているものがおもちゃになるのいい。新聞紙有害ではないのか。

・子ども財団ボランティアスタッフ：連続性の遊び素晴らしい。すべてが簡単にできるもの、これをどう応用するのか。講師の方に一つ一つに狙いを教えてほしい。

・障害児のための財団ボランティア：障害のあるわが子も活動に参加。身体的な活動は参加できない

こともあったが、他は喜んで参加していた。片づけも遊びの中で行っていること印象深い。

・ウーパー郡：親子の活動素晴らしい。保育園に求められている内容。母の日・父の日などイベントに活用したい。

担当講師・徳永和美さん：親と子が触れ合うこと少ないなか、何かを作る・からだを触れ合う活動を行う中で親子が密着する快さを感じてほしい 親と子が緊張している姿から、徐々にほぐれ、笑顔・笑い声に。

新聞：活動に連続性がある。日本の新聞有害とは思えない。ヤクルトなど日常使うもの、家と保育所をつなぐ。

マイペンライ・森中さん：小さい時から親子の信頼関係を結ぶこととても重要。友達・遊びにも影響・保育者の積極性とても重要。

マイペンライ・松尾：日本ではなぜ親子活動を大切に取り組んでいるのか。子育て・子育て環境の変化、子育ての伝承がされにくく・子育て不安・負担感が高い。

タイでも忙しさのなか、触れ合うこと少ないと聞き日本の活動がニーズに合うと紹介している。 廃材を活用した手作りおもちゃの重要性。お家で呼んでいる新聞がおもちゃに代わる、ゲームができる。そのものの活用方法が多様になりうる。工夫する力を養う。

ラートパタナー保育園 (6月25日午後) 担当講師：森中智也さん

意見交流研修会参加者 (外部見学者 28人、当該保育所 4人)

意見交流研修会

- ・当該保育所：とても楽しかった。いろいろな年齢が楽しめる活動だった。子どもがほっこり心温かくなる時間が持てた。
- ・マヒドン附属幼稚園：感動的だった。保護者の子どもへのかかわりが素晴らしい。はじめ緊張していた保護者が徐々にほぐれ、楽しんでいる様子がよく見てとれた。一緒に活動したかった。次回活動に入らせてほしい。年齢別の活動をしてもらいたい。子どもの年齢と活動・ねらいが明確になるので。父親と子どもだけの活動もあってほしい。
- ・保育園：参加者への講師の心配りがよくわかった。素晴らしい。参加したい。
- ・南タイ：保護者にとって、とても素晴らしいひと時だった。
- ・参加保育者：保育者だけの研修会を開催してほしい。

担当講師・森中さん：親子より楽しそうな姿を出すことで子どもの気持ちを引っ張っていききたい。保育者は子どもに負けない元気と笑顔が必要。先生と遊ぶと楽しいというイメージを持ってもら

うこと大切。年齢に合った遊びというより、子どもの興味に沿った遊びと捉えている

マイペンライ・徳永さん：親子の楽しむ姿が印象的。父親の参加も多く、子どもの笑顔が素晴らしかった。

マイペンライ・橋本さん：参加したいと思うほど楽しかった。

マイペンライ・松尾：活動に見学者が入りたいという意見があった。親子活動にみなさんのような保育者が入ると親は活動しなくなる。子ども集団の場にも、知らない人がそれでいてもたくさんいるのにと20人以上も増えると子どもはより緊張する。

2008年2009年は保育者対象の研修会、2010年から公開保育研修会。今後はシーカーのスタッフが公開保育研修・保育者対象研修を実施する。シーカーに依頼してほしい。

年齢別の活動・ねらいが先にあるのではなく、子どもが興味を持っている活動にこどもの育ちに合わせた次のねらいを持つことが重要。同年齢の活動で行ってほしいと意見がありましたが、同年齢でも一人ひとりの姿は少しずつ違うので個別なねらいがあります。異年齢の活動は、年齢の発達に大きな幅があるので、その育ちに沿ったねらいをもつことが必要だし、幅がある分難しい。

再現活動の「よろしくね」、例えばこの活動、1歳前後の子どもでもリズムにからだを乗せて楽しむとねらいを定めることができるし、4歳・5歳でもリズムとことばに合わせてからだを動かす、友達とからだの動きを合わせるというねらいを持つことができます。年齢による活動があるのでなく、同じ活動でもさまざまな年齢のねらいを定めて活動できるのです。

バーンテープ保育園（6月26日（日）午前）

A 担当講師：森中智也さん

B 担当講師：徳永和美さん

意見交流研修会

・南タイ：昨日とよく似た内容であったが、会場の狭さから2か所に分かれて実施がよかったと思う

・サハータイ財団：年齢別に分かれた活動をするのかと思ったが、会場の関係から二つに分かれての活動だった。「あたま・かた・ひざ・ポン」リズムに乗って遊ぶ活動とてもよかった。紙トンボ、子どもの文を親ができてしまっていた。そんな時の助言は

新聞紙でボールを作り、走り玉入れの際、そこに入れたくない、持っておきたい子どもがいた。どう対応すればいいのか

・プラティーブ財団幼稚園：全部楽しかった。異年齢の活動だったのでざわつきがあったように思った。

・当該保育所園長：この日を迎えることができていると感激している。

忙しい親の生活、子どもと親の触れ合いをどうしたらいいかと悩んできた。今日の親子のうれしそうな顔を見て、この時間がどれほど親子にとって幸せなひとときであったかが感じられた。

狭い施設に見学に来ていただき、感謝している。

・当該保育所保育者：昨日見学させていただいたが、手作りおもちゃが違う。どこの家にでもあるものを活用しての教材づくり、とても素晴らしい

8人の職員が、すべての公開保育研修に参加。学んだことを8人でシェアし合うことでたくさんの活動を互いに学ぶことができた。

ワットターカム・クロウングムと大人数での活動だったが、当保育園でも応用できるものばかり。

担当講師・徳永さん：子どもだけの参加もあり、子ども同士で友達を膝に乗せたり、なべなべそこぬけととても楽しんで活動していた。

お家でも楽しめる活動であったと思う。廃材などを活用することで家と保育所の活動がつながる。

担当講師・森中さん：先生が布に乗ってみんなでゆらした時、親子がとてもいい顔していた。

園長先生のまなざし、自然を取り入れている保育環境（ペットボトルで植物を栽培し、保育園の壁などさまざまなところにつるしている）

当該保育園園長：立地条件に自然がないので少しでもと環境に工夫している

マイペンライ・橋本さん：親が楽しいと思うと子どもはとてもうれしい。今日は親子ともが楽しかったと思う。

親子での共同作業の時、親がしてしまうのはよくあること。少し助言してあげることも必要

マイペンライ・松尾：年齢だからざわついているのではないと思う。今日の子どもたち、保護者と一緒にうれしい。興味いっぱいの楽しい活動で喜びがいっぱいの姿とらえている。

教材って、高いもの・棚に飾っておくものではなく。おうちで必要なくなったものを活用するとおもちゃになるという教材もある。工夫する力、多様性を学ぶ機会であるとともに、お家と保育所を繋ぐものでもある。

忙しさで、子どもの保育所でなお活動に興味を持てなかった親が、捨てようとしたペットボトルを子どもに言われ、洗って保育所に。ある日迎えに行くとそれがおもちゃになっていた。それから、家の廃材を保育所に持っていく親になったという話は、よく大阪の保育所から聞きます。お家と親と保育所・子どもをつなぐ活動でもある